

授業科目 地域看護活動演習 II

【担当教員名】 杉本 洋、小山 歌子 他		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 地域において個人や集団を対象として展開される保健指導の方法を、演習を通して習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 人々の健康行動の特徴と効果的な保健指導の方法を説明する。 個人および集団を対象とした保健指導計画を立案する。 既習の理論を活用し、対象にあわせた保健指導を展開する。 実施した保健指導の評価方法を説明する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-2	家庭訪問・個別健康相談演習			1-4	講義・グループワーク
3-4	グループ組織活動演習・個別事例からの地域診断演習			1-4	講義・グループワーク
5-6	母子保健・高齢者保健活動演習			1-4	講義・グループワーク
7-8	感染症・難病保健、精神保健福祉活動演習			1-4	講義・グループワーク
9-10	健康教育技術演習：計画、シナリオ、媒体作成など			1-4	講義・演習・グループワーク
11-12	健康教育技術演習：媒体作成、準備、リハーサルなど			1-4	演習・グループワーク
13-14	健康教育技術演習：健康教育実施			1-4	演習・グループワーク
15-16	健康教育評価・まとめ・行政の仕組みと公衆衛生看護活動			1-4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公衆衛生看護活動論技術演習	岩本里織、北村真弓、標美奈子	クオリティケア	2010・2,940円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況や演習への取り組みとレポートから総合的に評価する。		【履修上の留意点】 地域看護学実習Ⅰで必要となる知識や技術である。 グループワークを中心に演習を展開しますが、実習を意識して学生一人ひとりが確実に技術を習得するように取り組んでください。			